

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

<b>事業番号・事業名</b>	68	水道広域化推進事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア 第3章-3-(11)-イ 地域特性に応じた生活基盤の整備 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉 における住民サービスの向上																																																																	
<b>担当部課名</b>	保健医療部衛生業務課	<b>事業実施 (予定)年度</b>	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-9																																																																
<b>事業内容</b>	水道広域化により、本島と離島の水道サービスの格差を是正し、定住条件の整備を図るため、水道広域化の早期実施に向けて、小規模な離島村において効率的な水道施設へ確立することで、関係事業体のコンセンサスを得る取組を実施する。																																																																				
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )																																																																				
<b>予算額・執行額 【単位:千円】</b>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>26年度</td> <td>26年度(繰越)</td> <td>27年度</td> <td>27年度(繰越)</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">                     予算 の 状 況                 </td> <td>(a) 当初予算額</td> <td>27,234</td> <td>—</td> <td>195,382</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(b) 予算現額</td> <td>27,234</td> <td>—</td> <td>195,382</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(c) 増減額 (b-a)</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(d) 前年度繰越額</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">A. 計 (b+d)</td> <td>27,234</td> <td>—</td> <td>195,382</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B. 執行済額</td> <td>23,788</td> <td>—</td> <td>123,918</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     うち交付金充当額                 </td> <td>19,030</td> <td>—</td> <td>99,135</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C. 次年度繰越額</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     執行率 (%) (B/A)                 </td> <td>87.3%</td> <td>—</td> <td>63.4%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     予算の状況の説明                 </td> <td colspan="4">                     ・補助金の減額(入札残)及び旅費の執行残のため、不用額が生じた。                 </td> </tr> </table>		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	27,234	—	195,382	0	(b) 予算現額	27,234	—	195,382	0	(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	A. 計 (b+d)		27,234	—	195,382	0	B. 執行済額		23,788	—	123,918	0	うち交付金充当額		19,030	—	99,135	0	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	執行率 (%) (B/A)		87.3%	—	63.4%	—	予算の状況の説明		・補助金の減額(入札残)及び旅費の執行残のため、不用額が生じた。								
	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度																																																																
予算 の 状 況	(a) 当初予算額	27,234	—	195,382	0																																																																
	(b) 予算現額	27,234	—	195,382	0																																																																
	(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0																																																																
	(d) 前年度繰越額	—	—	—	—																																																																
A. 計 (b+d)		27,234	—	195,382	0																																																																
B. 執行済額		23,788	—	123,918	0																																																																
うち交付金充当額		19,030	—	99,135	0																																																																
C. 次年度繰越額		0	—	0	0																																																																
執行率 (%) (B/A)		87.3%	—	63.4%	—																																																																
予算の状況の説明		・補助金の減額(入札残)及び旅費の執行残のため、不用額が生じた。																																																																			
<b>活動目標 (指標) 及び達成状況</b>	H28活動目標(指標)	達成状況																																																																			
		25年度	26年度	27年度	28年度																																																																
	多良間村における実証事業の実施	目標 調査を実施する	シンポジウム及び調 査を実施する	浄水プロセスの検討、更 新及び離島水道施設整 備計画等について検討す る	多良間村における 実証事業の実施																																																																
		実績 調査を実施した	シンポジウム及び調 査を実施した	浄水プロセスの検討、更 新及び離島水道施設整 備計画等について検討し た	多良間村において 実証事業を実施し た																																																																
	達成 状 況 説 明	県内における水道料金が高額に位置する多良間村に対し、既存水道施設において、薬品等減少によりコスト縮減となるような水処理方法の検討を行い、効率的な水道施設へ確立するための実証事業を実施した。																																																																			
<b>成果目標 (指標) 及び進捗状況</b>	H28成果目標(指標)	基準値 (22年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (33年度)																																																															
	多良間村の水道施設において、最適な運転管理、処理方法を検討し、確立する。	目標	県内コンセンサスを得る活動の実施、最適な運転管理等の検討等の実施	離島水道施設整備基本計画の策定	多良間村の水道施設において、最適な運転管理、処理方法を検討し、確立する。																																																																
		実績	県内コンセンサスを得る活動の実施、最適な運転管理等の検討等の実施	離島水道施設整備基本計画の策定	多良間村の水道施設において、最適な運転管理、処理方法を確立した。																																																																
	【参考指標】 水道広域化実施市町村数	目標	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)	9村 (県全体:31市町村)	15市町村 (県全体:37市町村)																																																															
	進捗 状 況 説 明	実績	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)																																																															
	多良間村の既存の水道施設において、コスト削減に関する実証事業を行い、薬品等が減少可能となる水処理方法及び安全が確認され、最適な運転管理、処理方法が確立された。																																																																				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道サービスに格差のある離島村においては、実証事業にて最適な運転管理等の検討を行うこととしている。平成28年度は多良間村にて既存水道施設のコスト削減に関する実証事業を行い、薬品等が減少可能となる水処理方法及び安全が確認され、最適な運転管理、処理方法が確立された。</li> <li>本島周辺離島8村の各島における既存の水道施設において、経年劣化による更新、耐震化、水処理能力が限界に近いこと今後の水質確保の継続性等の課題がある。</li> <li>小規模離島の水道施設は、良質な水源に乏しいことから高コスト構造である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、圏域毎の事業統合による広域化にも取り組み、該当する地域住民や水道事業者等、関係者のコンセンサスを得る必要がある。</li> <li>本島周辺離島8村への水道用水供給拡大による水道広域化について、各島における既存の水道施設に課題がある箇所においては、良質な水道水を安定的に供給するため、広域化前に老朽化施設の更新、耐震化、持続的な水処理能力確保のために施設整備を行う必要がある。</li> <li>施設整備を行うにあたり、平成27年度に当該事業で策定した広域的施設整備基本計画を元に、より効率的な施設を早期に整備するための調査等が必要である。</li> </ul>

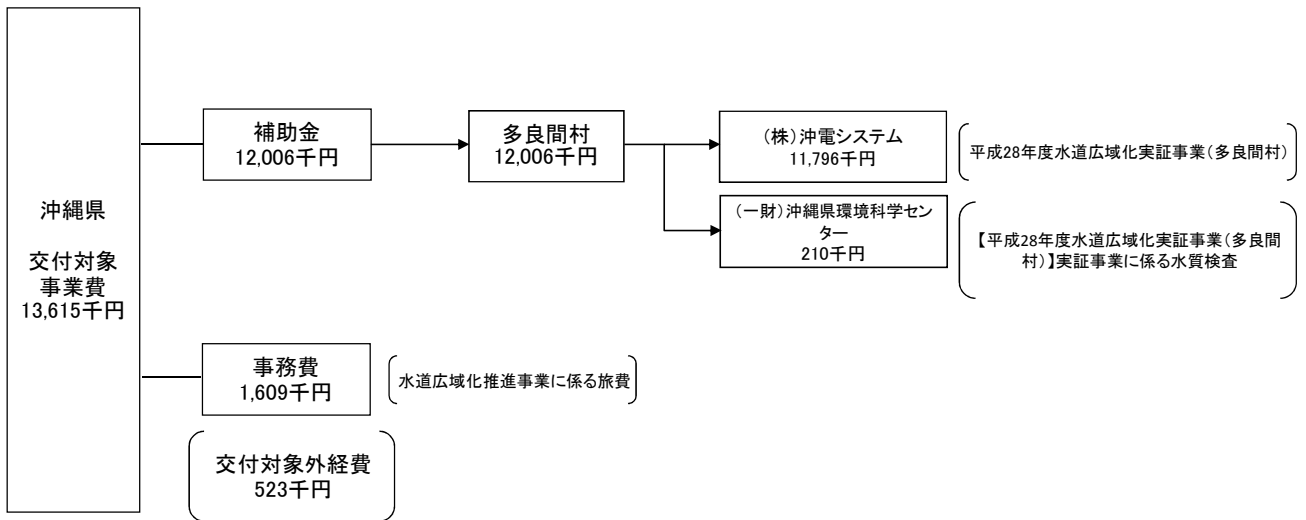
**今後の取り組み方針**

- 沖縄本島周辺離島8村においては、今後、必要な施設整備や調査等を行い、準備の整った村から順次水道広域化を実施していく。
- 水道広域化に係る水道施設整備には、多額の費用を要するため財源の確保に努める。
- 水道広域化推進のため、現在水道用水受水している市町村には引き続き合意形成を得るよう取り組む。
- 更なる水道広域化推進のため、各圏域において水道広域化が進められるように各種調査、合意形成を得るための取り組みを実施する。

**資金の流れ**

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
14,138	13,615	10,892	1,522	1,201	0	523



資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初計画のとおりの実証事業内容を実施し、目標を達成したことから、予算規模は適正な規模であった。</li> <li>費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか、完了検査、額の確定時において、支出等に関する証憑類を確認し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	